



2022年7月29日

各位

会社名 株式会社 船場
代表者名 代表取締役社長 八嶋大輔
(コード番号：6540 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 執行役員
経営企画・財務経理・PR担当 秋山弘明
(TEL. 03-6865-8195)

2022年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年2月14日の決算発表時に公表いたしました2022年12月期第2四半期累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）の業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正について

2022年12月期 第2四半期累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	12,000	380	380	240	23.42
今回修正予想 (B)	12,804	539	527	234	22.85
増減額 (B-A)	804	159	147	△6	
増減率 (%)	6.7	41.8	38.7	△2.5	
(ご参考：前期実績) 2021年12月期第2四半期累計期間	7,942	△250	△249	△216	△21.24

2. 修正の理由

(第2四半期累計期間の業績予想の修正理由)

2022年12月期 第2四半期累計期間における業績につきましては、国内では、2022年3月をもってまん延防止等重点措置が解除となり、経済活動や事業環境は緩やかではありますが回復傾向となりました。そのような状況の中、当社が以前より得意とする商業分野での受注が拡大したこと、また当年度からスタートした中期経営計画“Make a New Wave!”で掲げる重点施策の1つである新たな市場の開拓により、グランピング施設及びオフィス等の注力分野として取り組む市場での大型案件を獲得したこと、また昨年からの継続して取り組む原価低減及び生産性向上に対する取り組みが収益性向上へとつながりました。

以上の理由により、売上高及び営業利益並びに経常利益は当初業績予想を上回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、グループ会社再編に伴う税金費用が先行して発生したことにより目標を若干下回る見込みとなったため、上記のとおり修正いたします。

なお、2022年12月期 通期における業績につきましては、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念及び海外での事業環境の不透明さもあるため、2022年2月14日に公表いたしました前回発表の予想数値を据え置くことといたします。

今後の業績の推移に応じ、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

以上